

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	令和6年7月26日	決裁	令和	年	月	日
議 長	副議長	局 長	副主幹	係 長	担 当	担 当	文書取扱主任					

第 12 回 厚 生 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日		令和6年5月30日（木曜日）		開会 10 時 24 分		閉会 11 時 11 分	
開催場所		第二・第三委員会室					
出席委員		木下、好川、寄谷、高橋、福井、藤田、堀、田村、				事務局	深村事務局長
		荒木、関藤					壽崎副主幹
欠席委員		なし					小島主事
説明員		別紙のとおり					
議 件		別紙のとおり					
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について						
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。						
	(1) 経営状況について						
	(2) 令和6年度滝川市病院事業会計補正予算（第1号）について						
	(3) 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について						
	(4) 令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について						
	(5) 令和6年度一般会計補正予算について（障害者自立支援給付審査支払等システム改修費）						
	(6) 滝川市立保育所条例の一部を改正する条例						
	(7) 滝川市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例						
	(8) 在宅福祉サービス利用料の改正について						
	(9) 令和6年度一般会計補正予算について（新型コロナウイルス感染症予防接種に係る接種費用）						
	(10) 令和6年度一般会計補正予算について（五種混合予防接種の定期接種化に伴う健康管理システム改修）						
	2 第2回定例会以降の調査事項について						
	別紙調査項目のとおり決定した。						
3 その他について							
なし							
4 次回委員会の日程について							
正副委員長に一任することに決定した。							
上 記 記 載 の と お り 相 違 い な い。 厚生常任委員長 木 下 八重子 ㊞							

第12回 厚生常任委員会

R6.5.30 (木)11:00～

第二・第三委員会室

開 会 10:24

委員長 それでは、皆さん、第12回厚生常任委員会を開催いたします。

委員動静報告

委員長 委員の人数ですけれども、全員です。10名が出席しております。

1 番目、市立病院、(1)、経営状況について説明を求めます。

(何事か言う声あり)

委員長 すみません。傍聴は、株式会社北海道新聞社と株式会社空知新聞社……

(「報道ですね」と言う声あり)

委員長 取材の許可をしております。失礼しました。

(何事か言う声あり)

委員長 荻野議員、山口議員、安樂議員の傍聴を許可しております。

(何事か言う声あり)

委員長 それと、正副議長が出席しております。大変失礼いたしました。

1 所管からの報告事項について

委員長 それでは、(1)、市立病院の経営状況について説明を求めます。

(1) 経営状況について

金子課長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

高 橋 2点ほどお聞きしたいのですけれども、経営状況報告についての最後のページになりますが、外来のところでどんどん人数が減っているということですが、たしか去年の8月より子供の医療費が無償化になっていて、中学生以下の割合というのはどの程度なのか。これによる影響というのは収益にあったのかということをお聞きしたいです。

もう一つが下のところで、3の診療収益減少の背景というところになりますが、内科医が2名辞めてしまい、外科医が1名ということで、内科医の確保が喫緊の課題と書いてあるのですけれども、とてもこちらも深刻ではあると思うのですが、ほかの医師というのはどれぐらい足りていないのかということもお聞きしたいです。

金子課長 内科医師2名、そして外科医師1名の減少のご質問にお答えをしたいと思います。

このほかのドクター、医師で充足しているのかどうかという状況でいえば、昨年からの比較の状況でいけば充足をしているという状況で申し上げていいのかどうか分かりませんが、大きく変わるところについてはございません。内科と外科については、科としては非常に大きく入院件数、あるいは外来の件数に関わってくる、根幹に関わる科ですから、ここの減少が非常に外来、入院ともに件数の落ち込みに影響しているものというふうに考えてございます。

矢野課長補佐 小児科の影響です。小児科は前年対比、外来患者数74人減少しています。1日平均に割り返すとマイナス3.5人ということで、その程度の影響と。中学生の医療費の負担がなくなったということになっていますけれども、患者数についてはプラスになっているということにはなっていません。

委員 長
福 井

ほかに質疑ございますでしょうか。
すみません。3点ほど。

先ほど内科医のほうで外来と病棟のほうで影響が出るというのは分かりましたが、外科医のほうがお一人減っているということで、手術室とかのほうもやはり、手術の回転数というのですか、そういうのも影響が出たのかどうか。例えば手術する医師の数が足りないので、やむを得ずほかの病院のほうへ紹介を回してしまったとか、そういうのがあるのかどうか。1点目と、あと今年の3月11日から内科、整形、産婦人科の受付時間短縮というのはやっぱりこの人員減少が関わっているためなのでしょう。

青山課長

あとは、3点目なのですが、医師減少によってほかの医療従事者に対しての負担増加等の影響があったりとか、その対応策としてどういったことをなされているのか、この3点について教えていただきたいです。

外科の手術の件数なのですが、昨年4月段階で15件あった手術件数が今年度の4月、7件ということで、8件減少している状況です。それに伴いまして、昨年と比較しますと医療収益が7,000万円ほどの減収になっているのですが、外科につきましてはその部分、11パーセントぐらい手術に伴うもので減少しているかと思われます。ただ、手術の回転数といったところにおきましては、手術室が6室あるのですが、そこで回している形になりますので、その減少と回転数というのは直接関係はないかと思います。

金子課長

それでは、私のほうから2点目、3点目でご質問を受けた点について回答申し上げます。

まず、3月11日から受付時間を変更し、短縮をして、11時半まで受付できたところを11時というようにすることで、いろいろと患者の皆さんにご迷惑をおかけしているところなのですが、診療科によっていろいろ背景が異なる部分がありますが、共通して申し上げられることというのは午後診療ですとか、そういった午後に向けての影響が非常に大きいと。例えば病棟の回診がその分遅れていくですとか、あるいは午後外来の準備に間に合わないだとか、手術を実質遅らせざるを得ないですとか、受付時間をぎりぎりに持っていくと、結局午前診療の枠の中で収まらないということが多くございます。ですから、総患者数をコントロールするという観点ではなくて、あくまでも11時に来ていただいた患者を午前の診療時間の中で診るというようにすることでありますので、この点については医師数の減少が影響しているというものではございません。

もう一点、医療従事者に対する影響という観点でおっしゃられましたけれども、医師の中では非常に負担増になっています。少ない医師の中で最大限患者を診るというようにやっているものですから、非常に影響が大きいのは医師です。ほかの医療スタッフはどうかと申し上げますと、そんなに大きな影響はございません。むしろ患者数が減少していますから、負担そのものの観点でいえば少し緩和はしているというように状況でございますので、ご理解をいただきたいと思います。

委員 長
荒 木

ほかに質疑ございますでしょうか。

この質問自体が意味があるかどうかちょっと判断しかねるのですが、4月の経営状況を新たに報告いただいたのはよかったと思うのですが、私たちというか、判断するのに単月の収支ってどうなのだということが一つ要素としてあると思うのです。単純に診療報酬は2か月遅れで入ってくる、それは今4月は2月の

が入ってきているということになるのですが、そのほかに支出が増える時期ってありますよね、人件費の分だとか起債の償還だとか。あまり4月の単月収支をお聞きしても意味があるかどうかは分からないのですけれども、今後を見る上で非常に重要だと思うので、ちなみに令和6年4月の単月の収支はお答えできますか。

金子課長

令和6年の4月単月で現金の推移だけは申し上げます。4月に支出が確定したもの、でもまだ未払いのもの、いろんな要素があって、これらの4月の状況が確定していくのは結構後になるのです。2か月後ではないとはっきりしたことは申し上げます。今の段階ではっきりしたことを申し上げますのは、資料にも添付をしております、令和6年3月、年度の報告の中に書いていますけれども、先ほども申し上げました現金が15億2,326万円あります。それに比較するものとしては、今回新たに資料でおつけた令和6年の4月分の経営状況報告、こちらの2番目、診療収益及び現金の推移というところに書いてございます6年4月分の8億5,230万6,000円。先ほど年度のほうで申し上げました6億円程度、3月に入ってくるものを4月にお支払いするというのを申し上げます。単純計算をしますと、先ほどの15億2,326万円から6億円を引きますと9億2,300万円程度になります。9億2,300万円と8億5,200万円を比較しますと、約7,000万円前月より減らしているという形でございますので、単純に現金の推移で考えればそういった推移をさせていただきます。

委員長

ほかに質疑ありますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長

ほかに質疑がないようですので、(1)につきましては報告済みとさせていただきます。

次に、(2)、令和6年度滝川市病院事業会計補正予算(第1号)についての説明を求めます。

(2) 令和6年度滝川市病院事業会計補正予算(第1号)について

柳部長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長

質疑がないようですので、(2)につきましては報告済みとさせていただきます。所管の入替えのため暫時休憩いたします。

休 憩 10:46

再 開 10:47

委員長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、市民生活部、(3)、令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)についての説明を求めます。

(3) 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

栗木係長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長

質疑がないようですので、(3)につきましては報告済みとさせていただきます。それでは、(4)、令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)に

ついでの説明を求めます。

大橋課長補佐
委 員 長

（４）令和６年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）について
（別紙資料に基づき説明する。）

説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

（なしの声あり）

委 員 長

質疑がないようですので、（４）につきましては報告済みとさせていただきます。

所管の入替えのため暫時休憩いたします。

休 憩 １０：５２

再 開 １０：５３

委 員 長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

（５）、令和６年度一般会計補正予算について（障害者自立支援給付審査支払等システム改修費）についての説明を求めます。

（５）令和６年度一般会計補正予算について（障害者自立支援給付審査支払等システム改修費）

谷内係長
委 員 長

（別紙資料に基づき説明する。）

説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

（なしの声あり）

委 員 長

質疑がないようですので、（５）につきましては報告済みとさせていただきます。

次に、（６）、滝川市立保育所条例の一部を改正する条例の説明を求めます。

（６）滝川市立保育所条例の一部を改正する条例

井谷課長補佐
委 員 長

（別紙資料に基づき説明する。）

説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

（なしの声あり）

委 員 長

質疑がないようですので、（６）につきましては報告済みとさせていただきます。

次に、（７）、滝川市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例の説明を求めます。

（７）滝川市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例

木村課長
委 員 長

（別紙資料に基づき説明する。）

説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

（なしの声あり）

委 員 長

質疑がないようですので、（７）につきましては報告済みとさせていただきます。

次に、（８）、在宅福祉サービス利用料の改正についての説明を求めます。

（８）在宅福祉サービス利用料の改正について

加藤課長補佐
委 員 長

（別紙資料に基づき説明する。）

説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

田 村	これは人数を聞きたいのですが、ヤクルトの配達されているところは何件ぐらいあるのですか。
加藤課長補佐	友愛訪問サービスをご利用されている方は、現在利用登録者としては89名の方が登録して、ご利用されている状況です。
田 村	この89名というのは分かったのですが、もっといるのではないかと実は思っているのですが、これで全部抱えているのだろうか、この人数。どのような調査方法で89名を選んでいるのですか。
加藤課長補佐	こちらの友愛訪問サービス事業については、利用者から申込みがあつて、その申請内容を審査して、受け付けているものです。利用者本人や家族からの申請のほかにその方、高齢者を担当しているケアマネージャーや事業者の方からも相談があつて、申込みされているというような状況になっております。
田 村	それでは、役所としては積極的に調べてはいないという捉えでいいですか。
加藤課長補佐	こちらのサービス、見守りのサービスとして高齢者、そういった見守りが必要な方に対して高齢者の在宅福祉サービスとして提供しているものでして、そういった必要な方からの家族や介護事業所からの申出によって受け付けているものになります。
木村課長	ちょっと補足をさせていただきたいのですけれども、市内の一般の方でヤクルトを取られている方というのはかなりいらっしゃると思うのですけれども、そういう方が全て対象ということではなくて、こちら介護福祉課のほうにお申込みをいただいている方、この方々がヤクルトの友愛訪問サービスの対象になるものですから、そもそも基本料とかも一般で取られている方というのはもうちょっと高いと思うのですけれども、この制度をご利用されている方が89名いらっしゃるということになります。
田 村	よく分からないのですけれども、さっき聞いたのは役所として人数把握はどういうふうにしているかというのを聞きたいのですが、そういう施設だとかヤクルトの販売員だとか、市として独自には何も調べていないという捉えですか。
木村課長	ヤクルトを購入されている方の調査ではなくて、この89名の方というのが介護福祉課のほうを介してお申し込みいただいている方々になるものですから、このサービス自体は通常にご購入されている方が対象ではないということになるのですが。
	(「周知について」と言う声あり)
木村課長	周知。こちらを申し込んでいる方は、介護福祉課のほうに申込みをいただいているものですから、それ以外の方となると、周知は確かにさせていただいているのですけれども、申込みのほうは介護福祉課以外でというのはちょっといいのですけれども。
加地副所長	この制度は、単身の65歳以上の高齢者の方で、見守りとか、もしお一人で家にいて倒れたとか、そういうのが不安だという方のためにヤクルトレディーがヤクルトをお届けして、ご本人に変わりがないかを確認するというサービスになっております。それで、これから出します介護保険のことを説明したしおりですとか、それから市内のそういうケアマネージャー、地域の介護予防の講座などでもこういうものがありますよというのは広く説明はさせていただいて、その中で必要な方に制度を利用していただくというような形になっております。なので、単身高齢者の人を1軒1軒調べて、皆さんに何か通知を毎年しているとか、そのようなことはしていないのですが、対象の方にはご希望の方に制度

を利用していただこうと思っておりますので、そういう形で今周知には努めているところです。

委員長 ほかに質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長 ないようですので、(8)につきましては報告済みとさせていただきます。次に、(9)、令和6年度一般会計補正予算について(新型コロナウイルス感染症予防接種に係る接種費用)についての説明を求めます。

(9) 令和6年度一般会計補正予算について(新型コロナウイルス感染症予防接種に係る接種費用)

倉嶋主査 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長 質疑がないようですので、(9)につきましては報告済みとさせていただきます。次に、(10)、令和6年度一般会計補正予算について(五種混合予防接種の定期接種化に伴う健康管理システム改修)についての説明を求めます。

(10) 令和6年度一般会計補正予算について(五種混合予防接種の定期接種化に伴う健康管理システム改修)

坂本保健師 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長 質疑がないようですので、(10)につきましては報告済みとさせていただきます。ここで所管及び報道各社の退室をお願いいたします。

2 第2回定例会以降の調査事項について

委員長 第2回定例会以降の調査事項については、別紙のとおりでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

3 その他について

委員長 その他について皆さんからありませんでしょうか。ありませんか。

(なしの声あり)

4 次回委員会の日程について

委員長 それでは、次回の委員会の日程につきましては、正副委員長にご一任していただけますでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長 それでは、そのようにさせていただきます。

以上で、第12回厚生常任委員会を閉会いたします。

閉 会 11:11

令和6年5月28日

滝川市議会議長 山 本 正 信 様

滝川市長 前 田 康 吉

厚生常任委員会への説明員の出席について

令和6年5月1日付け滝議第16号にて通知のありました第12回厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

市民生活部長	横 山 浩 丈
市民生活部保険医療課長	寺 嶋 悟
市民生活部保険医療課長補佐	大 橋 晃 久
市民生活部保険医療課係長	栗 木 康 隆
保健福祉部長	鎌 田 清 孝
保健福祉部次長	景 由 隆 寛
保健福祉部福祉課長	土 橋 祐 二
保健福祉部福祉課長補佐	林 裕 樹
保健福祉部福祉課係長	谷 内 謙 太
保健福祉部子育て応援課長補佐	井 谷 永里子
保健福祉部介護福祉課長	木 村 雅 人
保健福祉部介護福祉課長補佐	加 藤 和 久
保健福祉部介護福祉課地域包括支援センター副所長	加 地 美賀子
保健福祉部健康づくり課長	運 上 明 子
保健福祉部健康づくり課長補佐	和 泉 譲
保健福祉部健康づくり課主査	倉 嶋 真 司
保健福祉部健康づくり課保健師	坂 本 昇 平
市立病院事務部長	柳 圭 史
市立病院事務部次長	堀 勝 一
市立病院事務部事務課長	金 子 和 史
市立病院事務部事務課長補佐	小 谷 友 宏
市立病院事務部事務課係長	古 山 貴 昭
市立病院事務部事務課係長	里 村 真 紀
市立病院事務部事務課主査（専門員）	畑 原 秀 樹
市立病院事務部医事課長	青 山 和 美
市立病院事務部医事課長補佐	矢 野 健 介
市立病院事務部医事課係長	藤 原 元 美

(総務部総務課法制文書係)

第12回 厚生常任委員会

日 時 令和6年5月30日(木)
午前11時00分～
場 所 第二・第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1 所管からの報告事項について（◎印は議案関連）

《市立病院》

- (1) 経営状況について (資料) 市立病院
- ◎ (2) 令和6年度滝川市病院事業会計補正予算（第1号）について (資料) 市立病院

《市民生活部》

- ◎ (3) 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について (資料) 保険医療課
- ◎ (4) 令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について (資料) 保険医療課

《保健福祉部》

- ◎ (5) 令和6年度一般会計補正予算について（障害者自立支援給付審査 支払等システム改修費） (資料) 福祉課
- ◎ (6) 滝川市立保育所条例の一部を改正する条例 (資料) 子育て応援課
- ◎ (7) 滝川市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する 条例の一部を改正する条例 (資料) 介護福祉課
- (8) 在宅福祉サービス利用料の改正について (資料) 介護福祉課
- ◎ (9) 令和6年度一般会計補正予算について（新型コロナウイルス感染 症予防接種に係る接種費用） (資料) 健康づくり課
- ◎ (10) 令和6年度一般会計補正予算について（五種混合予防接種の定期 接種化に伴う健康管理システム改修） (資料) 健康づくり課

（終了後、所管及び報道各社の退室）

2 第2回定例会以降の調査事項について～別紙

3 その他について

4 次回委員会の日程について

○ 閉 会